

厚生労働省関係

ものづくりを支える高度な技能

受賞名	卓越した技能者(現代の名工)		職種	木型木工
受賞者	さいとう じょうじ 齊藤 丈二	所属企業	日産自動車株式会社 栃木工場	
所在	栃木県河内郡上三川町		年齢	55歳

ものづくりを支える高度な技能

受賞名	卓越した技能者(現代の名工)		職種	車両組立工
受賞者	ありすえ ふみお 有末 文男	所属企業	川崎重工業株式会社 兵庫工場	
所在	兵庫県神戸市		年齢	59歳

案件の概要

自動車用鋳造部品の木型製作において、2次元の図面から立体形状をイメージし、手工具のノミとカンナを巧みに使い、0.1mmの歪みもない木型形状を短時間で作り上げる卓越した技能を有している。

また、鋳造試作部品と量産金型鋳造部品の等質化を追求し、量産時と同等の試作部品ができる木型加工法を開発したほか、CAD・CAM工法を導入し、木型の製作期間の大幅な短縮も実現するなど、生産性の向上や品質向上、原価低減に努め、木型の信頼性向上に大きく貢献している。



ノミ・カンナを巧みに扱い木型を作り上げる



直列6気筒のエキゾーストマニホールドの木型

案件の概要

鉄道車両の構体組立作業に長年従事し、六面体を組立てる溶接作業、とりわけ高精度が要求される新型新幹線車両、ステンレス製車両において欠かせない歪取り(溶接時に発生する歪を修正する作業)作業、アルミニウム製車両の外板のブラッシングといった繊細な感覚が必要とされる仕上げ作業などに卓越した技能を有している。

新幹線車両をはじめとして、通勤電車、海外向け車両など、材質を問わず、多種多様の鉄道車両の品質向上に多大な貢献をしている。



鉄道車両構体の歪取り作業(右側が受賞者)



作業を完了した鉄道車輛

ものづくりを支える高度な技能

受賞名	卓越した技能者(現代の名工)		職種	寝具仕立工
受賞者	にわ まさゆき 丹羽 正行	所属企業	にわふとん店	
所在	愛知県名古屋市		年齢	63歳

ものづくりを支える高度な技能

受賞名	卓越した技能者(現代の名工)		職種	産業用機械組立工
受賞者	いまい あきひろ 今井 昭浩	所属企業	パナソニックプロダクションテクノロジー株式会社	
所在	大阪府門真市		年齢	59歳

案件の概要

40年以上の寝具製作により培ってきた技能と経験により、従来の作業工程を根本から見直し、工学的手法を取り入れた緻密な製法と手順により、型崩れの少ない製品を作り上げる卓越した技能を有している。

敷布団の製作において、シート状の綿を従来技法よりもより立体的に積み重ねる「縦方向、積層手法」を考案した他、座布団の製作において、四隅の角に十分綿が行き渡る「立体綿組法」を確立し、現在ではこれら技法が広く業界で使われるなど、寝具の生産技能の発展に貢献している。



指先で綿の厚みの不揃いを調整している様子



シワが無く、型崩れの極端に少ない敷布団

案件の概要

光学機器に広く使用されている非球面レンズの表面形状や金型を測定するために使用する、 $\pm 0.1\mu\text{m}$ 以下の表面形状や約0.03gf(圧力)で高精度な測定を要求される機器(超高精度三次元測定機)の測定針先端部を、成形研磨 $\pm 0.05\mu\text{m}$ 以下の精度で加工できるなどの卓越した技能を有している。

こうした超高精度三次元測定機の量産化への功績は、現在の光学機器の小型化・低コスト化にも多大なる影響を与えている。



測定針先端部研削作業



超高精度三次元測定機による測定の様子



測定針先端部

ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

受賞名	技能五輪国際大会金メダリスト		職種	情報ネットワーク 施工
受賞者	うつのみや しんぺい 宇都宮 晋平	所属企業	株式会社きんでん 大阪支社	
所在	大阪府大阪市		年齢	23歳

ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

受賞名	技能五輪国際大会金メダリスト		職種	自動車板金
受賞者	やまだ やすお 山田 恭生	所属企業	トヨタ自動車株式会社	
所在	愛知県豊田市		年齢	21歳

案件の概要

第42回技能五輪国際大会(ドイツ大会)の**情報ネットワーク施工職種**において**金メダル**を受賞。

また、**全46職種、986名の選手の中で最高得点を獲得し、「アルパート・ビダル賞」**を受賞。

本職種は、インターネットなどのネットワークシステムのインフラ整備において必要な技能であり、LANケーブルや光ファイバーケーブルの配線の正確さや早さなどを競うもの。

※日本は、競技が新設された第38回大会以降5連覇



案件の概要

第42回技能五輪国際大会(ドイツ大会)の**自動車板金職種**において**金メダル**を受賞。

本職種は、カスタムカーや試作車の製作、損傷車の修理などにおいて必要な技能であり、変形・破損させた自動車の車体を用い、外板部分はハンマーなどによりたたき出し、損傷した部分は溶接などにより、精度良く復元する技能を競うもの。

※日本は、2大会連続14回目の金メダル



ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

受賞名	技能五輪国際大会金メダリスト		職種	電工
受賞者	さかもと みずき 坂本 瑞義	所属企業	株式会社きんでん 神戸支店	
所在	兵庫県神戸市		年齢	22歳

ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

受賞名	技能五輪国際大会金メダリスト		職種	ITネットワーク システム管理
受賞者	にしで たくや 西出 拓矢	所属企業	トヨタ自動車株式会社	
所在	愛知県豊田市		年齢	21歳

案件の概要

第42回技能五輪国際大会(ドイツ大会)の電工職種において金メダルを受賞。

本職種は、住宅やビルなどの電気設備工事において必要な技能であり、電灯・コンセント回路設備や動力制御設備などを組立て、配管・配線する正確さなどを競うもの。

※日本は、2大会ぶり11回目の金メダル

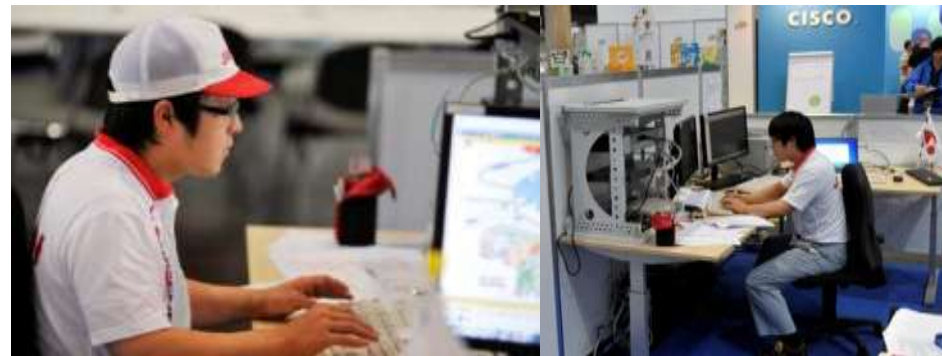


案件の概要

第42回技能五輪国際大会(ドイツ大会)のITネットワークシステム管理職種において金メダルを受賞。

本職種は、コンピュータへのオペレーションシステムのインストールと設定、サーバシステムとネットワークの構築、セキュリティの設定に必要な技能であり、これらシステムの構築技術を競うもの。

※日本は、2大会連続2回目の金メダル



ものづくりの将来を担う高度な技術・技能

受賞名	技能五輪国際大会金メダリスト	職種	プラスチック 金型
受賞者	たかみね まさき 高峰 征希	所属企業	株式会社デンソー
所在	愛知県刈谷市	年齢	19歳

案件の概要

第42回技能五輪国際大会(ドイツ大会)のプラスチック金型職種において金メダルを受賞。

本職種は、プラスチック成形用金型を製作するために必要な技能であり、CAD・CAMシステムを用いた設計、数値制御フライス盤による機械加工、ヤスリなどによる仕上げにより金型を製作。金型とこれを用いて成形されたプラスチック製品の寸法精度や見栄えを競うもの。

※本大会から新設された競技職種



文部科学省関係

文化を支えるものづくり

受賞件名	平成23年度文化庁長官表彰被表彰者(帽子デザイナー)		
受賞者	ひらた あきお 平田 暁夫	所属機関	(有)オートモード平田
所在	東京都港区	年齢	88歳

文化を支えるものづくり

受賞件名	平成21年度文化庁長官表彰被表彰者(伝統手漉き和紙製作者)		
受賞者	おおかわ あきのり 大川 昭典	所属機関	元高知県立紙産業技術センター
所在	高知県南国市	年齢	70歳

案件の概要

昭和14年に上京後、銀座の帽子専門店で働き、帽子作りを始める。その後、独立して帽子専門店アトリエ・ヒラタを設立。渡仏して本格的にオートクチュールの帽子作りを学ぶ。昭和40年に帰国後、ハナエ・モリ、イッセイ・ミヤケ等のブランドの帽子作りを担当するほか、皇族の帽子制作も行う。その傍ら、帽子教室も開き、多くの後継者の育成にも尽力した。また、個展も数多く開いており、こうした活動と功績で帽子を単なるファッションの脇役ではなく、アートの領域にまで高めた。

平成23年度文化庁長官表彰被表彰者。



作品制作中の平田氏



「ヒラタノボウシ」展(2011年)

案件の概要

土佐和紙を製造する家に生まれ、岡山製紙株式会社等で機械漉き紙製造技術の習得に努めた。その後、高知県紙業試験場(現高知県立紙産業技術センター)に入庁し、卓越した技量によって、古文書を中心とした書跡・典籍、絵画等の紙文化財の保存に尽力した。また、伝統的な手漉き和紙技術を生かした補修紙作製に励むとともに、教育・普及活動及び後継者の育成を積極的に行っている。

平成21年度文化庁長官表彰被表彰者。



和紙研究中の大川氏



ものづくりの将来を担う高度な技術・技能		分類	青少年部門	
受賞名	第6回若年者ものづくり競技大会（自動車整備職種） 第7回若年者ものづくり競技大会（自動車整備職種） において優勝			
受賞者	ごとう しょうた 五島 聖太	所属機関	長崎県立長崎工業高等学校卒業 (現 日産自動車株式会社勤務)	
所在	神奈川県横浜市	年齢	19歳	

ものづくりの将来を担う高度な技術・技能		分類	青少年部門	
受賞件名	平成23年度 全国高等専門学校第21回プログラミングコンテスト (自由部門)文部科学大臣賞			
受賞者	おおかわ みお 大川 水緒 (他4名)	所属機関	東京工業高等専門学校卒業 (現 NTTコミュニケーションズ株式会社勤務又は大学院在学中)	
所在	東京都八王子市	平均年齢	22歳	

案件の概要

第6回及び第7回若年者ものづくり競技大会（自動車整備職種）において、高校生で初めての連続優勝を果たし、厚生労働大臣賞を受賞。

この部門は、様々な電子・機械部品から構成される自動車の整備に関する複合的で幅広い知識と技術力が要求される高度な競技である。第7回大会では、エンジン分解点検、トランスミッション分解点検、ブレーキ点検整備など6つの課題で競い、高度な知識と技術・技能を生かして、制限時間内に迅速かつ正確な整備を行った。

受賞者は高等学校入学時から工業技術部に所属し、自動車整備の実技練習などをとおして、自動車整備にかかる知識・技術・技能をはじめ、思考力・判断力・集中力・体力を総合的に身に付けている。



エンジン分解点検の練習

案件の概要

「全国高等専門学校第22回プログラミングコンテスト(自由部門)」において、最も優れた作品に贈られる文部科学大臣表彰を受賞。

本作品は省電力の推進を目的とした照明に関する効率的な節電ソリューションである。LED照明の照明光そのものを用いてデジタル通信し、照明間通信ネットワークを構築。各照明にはセンサが搭載され周辺の明るさも測定し、窓際など明るい部分ほど照明を暗くし自動的に節電する。データはクラウドに集められ節電の「見える化」も実現。管理者は部屋・建物毎の節電率を外部からコントロールできる。

